

# 曾屋高新聞

発行  
2020年2月27日  
秦野曾屋高校  
新聞委員会  
秦野市曾屋 3613-1  
Tel 0463 (82) 4000

## 3年間の思い出を胸に 271名の旅立ちの春

令和元年度卒業式まで残りわずかとなりました。卒業式を迎えるにあたり、3年生の担任の先生方、前生徒会の皆さんからメッセージをいただきました。

**会長 加藤 巧輝**

1年生、2年生の皆さん、4月からクラスも変わり立場も変わり、色々なものが変わりゆくことで、大変だなと思うことが増えていくと思います。

曾屋高校の生徒のみなさんなら、どんなことがあっても物怖じせず乗り越えていけると信じています。曾屋高校を卒業していく私たちが、いつまでもみなさんの事を案じている先輩だということとを忘れずに頑張ってください。ありがとうございます。

**副会長 武 美析**

秦野曾屋高校に入学して、あつという間に3年という月日が経ち、私たちは今日で高校生活を終了します。曾屋高校で過ごした日々は、一生の宝物です。在校生のみなさん、高校で経験したことや苦楽、友達を大切に、残りの高校生活を悔い無く過ごしてください。

**副会長 井上 実咲**

1年生の皆さんは真ん中の学年になり大変なこともあると思いますが、部活や行事など一番全力で、取り組める年なので、ぜひ全力で取り組んでください。2年生のみなさん、3年生は受験もあり苦しい年ですが、頑張った先には素晴らしいことが待っていると思うのでそれに向けて頑張ってください。高校生活3年間はあつという間に過ぎていきます。1日1日を大切に過ごしてください。

**書記 原 奏海**

入学して早くも3年が経ちました。高校生活がこんなに早いと最初は思ってもみなかったです。楽しかったこと、辛かったこと、どちらもたくさんあって目まぐるしい日々でした。1、2年生の皆さんもそんな日々を大事にして、限られた時間を過ごしてください。

## はばたく卒業生に向けて 担任から贈る言葉

**1組 山本先生**

①今の3年生は、1、2年生の時に、授業などでも担当していなかったため、一人も知らない状態で1組の担任になることが決まってから、毎晩、全員の名前を必死に覚えめました。そのおかげで、始業式後のホームルームでは、全員の名前を言い切ることができました。



② In three words, I can sum up everything I've learned about life: it goes on. ロバート・フロストの言葉です。人生で学んだすべてを私は3語にまとめられる。それは「何があっても人生に続きがある。」ということだ。辛かったり、大変だったりしても、それは生きていくうちには全部繋がっていくものだから、辛くても頑張れ。

31期生の担任の先生方に、卒業生に関するインタビューを行い、2つの質問に答えていただきました。

①卒業生との一番の思い出について

②卒業生へ 伝えたい言葉

31期生を優しく、時には厳しくご指導してくださった先生方。インタビューにご協力いただきありがとうございます。

**3組 横尾先生**



①体育祭。トラブルはありましたが、優勝できたことが一番の思い出です。

②人から愛される人になってください。困ったときに支えてくれるのは自分の周りの人。友達だけではなくて、周りにいる全ての人に誠意をもって接してほしいです。

**2組 家本先生**



①1つ目は授業です。数学目では、はやい速度で授業を進めていました。それでもみんな頑張って授業についてきてくれたことが印象に残っています。情報では、皆とてもやる気があり、大変な課題を任せても、目を輝かせながら授業についてきてくれたので、大変やりがいを感じました。2つ目は掃除です。サボる子がおらず、放課後残ってくれたことが印象的でした。

②「お金を稼げる人」になってほしいです。高校を卒業すると自由な時間が増えると思います。遊びすぎずに空いている時間に課題をするなど、自分が今何をすべきかを見失わないようにしてください。そして、何をすべきかということや常に問い続けて、きちんと自立できる人になってほしいと思います。

**4組 久保田先生**

①体育祭でクラス全員で協力し、一致団結し盛り上がったことです。生徒みんなが笑顔でいきいきしており、素晴らしいなと思いました。

②社会のルールや、マナーを守り、周りの人に気を使い、役に立てるような人になってください。社会での活躍を期待しています。応援しています。



**7組 白根先生**

①やっぱり、修学旅行ですかね。

②ご卒業おめでとうございます。曾屋高校で過ごした時間と曾屋高校での仲間を大切に、進路先でも頑張ってください。応援しています。



**5組 加藤先生**

①一番は修学旅行 二番は文化祭  
②永遠に学び続けてください。



**6組 田中先生**

①日常でのやりとりが、一番の思い出です。修学旅行で、手作りペンダントをもらったのは、とても嬉しかったです。

②授業用プリントに人物画を描いていますが、構想を練り、下書きを経て、3〜5回ペンで重ねて描き入れています。納得いく絵になるまで時間がかかります。消える線もありますが、無駄なものはないです。何かを達成するときには、時間と「こだわり」を持つてほしいです。その過程を楽しむ事ができたなら最高ですね。

